

嘘

公演日

8月28日夜

8月29日夜

出演者

石川由依（2B）

あきやまかおる（ポッド153）

磯部恵子（オペレーター60）

※以下音声録音での出演。

花江夏樹（9S）

安元洋貴（ポッド042）

2B (ナ)

全ての存在は滅びるようにデザインされている。

2B (ナ)

生と死を繰り返す螺旋に……

2B (ナ)

私達は囚われ続けている。

2B (ナ)

これは、呪いか。

2B (ナ)

それとも、罰か。

2B (ナ)

不可解なパズルを渡した神に、

2B (ナ)

いつか、私達は弓を引くのだろうか？

オペレーター60

オペレーター60より2Bさんへ。聞こえますか？

2B

聞こえてる。

オペレーター60

了解です。

オペレーター60

それでは、  
予定されていた随行支援ユニット交換試験を開始したいと思います。

オペレーター60

2Bさんはポッドモデル042を通常利用していますが、  
今回は9Sさんの153と交換して数日間運用してもらいます。

オペレーター60

先日もお伝えしましたが、

これは普段利用している随行支援ユニットを交換する事で、ポッドシステムの問題点や、有用性を探るテストになります。

オペレーター60

試験、という名前ですが、普段通りに生活してもらえれば。

2B

了解。

オペレーター60

あ、あと先行してテストを行っている9Sさんからボイスメッセージが来ているので再生しますね？

◎データが再生されるノイズ音。

9S

えーと……もしもし？ 2Bさん、聞こえますかー？

9S

こちら9Sです。

無愛想なポッド042と一緒に交換試験頑張ってます。

ポッド042

否定…我々随行支援ユニットは感情を持たない。

ポッド042

「無愛想」という表現は不適當。

9S

ってな感じで、まあ、楽しくやってます。

9S

あっ、でも2Bさん。試験に飽きたらすぐに言ってくださいいね。

9S

ハッキングでも何でもしてすぐに試験中止にしてみせま……



◎ノイズ音でデータ再生が中段される。

オペレーター60

あっ……あはは……

オペレーター60

ここから先は司令部の検閲が入って削除されてるみたいですね。

オペレーター60

……じゃ、じゃあ、交換試験、頑張ってください！

2B (ナ)

オペレーター60が通信を閉じると、静寂が訪れた。

2B (ナ)

とりあえずのタスクを確認をすると、近場のアクセスポイントが表示される。

2B (ナ)

義体転送機能のエラーが出ているらしく、調査が必要だとの事だ。

ポッド153

ポッド153よりヨルハ機体2B。

2B

何？

ポッド153

「よろしくおねがいたしまーす」

2B

……は？



ポッド153

「よろしくおねがいたしまーす」

2B

……何、それ……

ポッド153

報告…人間関係を円滑にする為に再生される文章。

ポッド153

ヨルハ機体9Sの指定により、  
同様の返答を受信した時のみ再生が停止される。

ポッド153

「よろしくおねがいたしまーす」

2B

よ……よろしくおねがいたし、ます……

ポッド153

了解。

2B (ナ)

交換試験がこの調子で続くと、 unnecessary ストレスが溜まりそうだ。

2B (ナ)

私は頭をかかえながら、指定されたアクセスポイントへと向かった……

目標地点のアクセスポイントに向かう途中、  
私は機械生命体の村を通った。

「パスカル」と呼ばれる機械生命体が集めた平和主義者が集まる村だ。  
遠くで子供たちが、楽しそうに歌を歌っている。

2B (語り)

ここの機械達は風変わりな個体が多く確認されていた。

家族を真似する者、恋を語る者、そして、子供たち……

エイリアンの作り出した兵器にも関わらず、  
個性を持ってしまった集団。

まるでそれは、人類のようで……

◎少し間。

2B (語り)

……私達ヨルハ部隊は感情を持つ事を許されていない。

それは戦闘に特化したモデルだからだ。

最も効率的で、最も正しい選択。

だが、そうする事で、

心の中にある見えない何かを失ってしまった気がする。

私達の選択は、本当に正しかったのか。

この世界に相応しい存在は、一体誰なのか。

子供たちの歌を聞きながら、私は、暗い道を一人で歩いていた……

第二幕 アクセスポイント

ポッド153

調査対象のアクセスポイントに到着。

2B

義体転送システム及び、素体保管機能と通信ステータスの確認。

ポッド153

了解。

2B (ナ)

指定されたアクセスポイントは砂漠の開けた場所に設置されていた。

2B (ナ)

砂混じりの風が吹く中、ポッドの通信ランプが静かに明滅している。

2B (ナ)

アクセスポイントの外装に損傷などは見られなかったため、内部的な不具合だろう。ポッドならじきに解決する筈だ。

2B (ナ)

砂混じりの風が強くなり、日差しを遮っている。

2B (ナ)

私は周囲を警戒する為に、近くにある岩場に登った。

ポッド153

素体保管機能と通信ステータスの確認終了。

ポッド153

報告：素体再構成ユニットに不具合を検知。

2B

修復して。



ポッド153

了解。

2B (ナ)

砂嵐となった風で、視界が悪化する。

2B (ナ)

ところどころに石で作られた旧世界の遺跡がシルエットになって見えている。

2B (ナ)

強い風が砂を運んでくる。

ポッド153

素体再構成ユニットの修復。50%まで完了。

2B (ナ)

時折吹く強風に目を細めていると、  
コッソ、と足元に何かが触れるのを感じた。

2B (ナ)

それは、見覚えのある小さな花だった。

2B (ナ)

この花の写真を、以前オペレーター60に送った事を思い出す。

オペレーター60

これが、砂漠のバラなんですわ……なんだか神秘的な形してます。

2B (ナ)

軌道上の基地で、彼女はそう言って喜んだ。

オペレーター60

地球には、こんな豊かな自然があるんですね。

2B

……バラの他にも、沢山ある。

ユリやサクラにスズラン、ツキノナミダ。

2B

機会があれば、また送る。

オペレーター60

ありがとうございます！

オペレーター60

この写真……宝物にします！

オペレーター60

お礼のメールも、後で出しておきますね……ではでは！

2B (ナ)

……後から知った事だが「砂漠のバラ」は  
ミネラルで作られた結晶であり、植物ではなかった。

2B (ナ)

ただ、通信スクリーンに映るオペレーター60の笑顔が……  
とても嬉しそうだった事を覚えている。

ポッド153

報告…素体再構成ユニットの不具合を修正完了。

2B (ナ)

ポッドの作業終了報告を受けて、私はアクセスポイント内部の最終チェックをした。

2B (ナ)

基本骨格や、肌を構成する樹脂素材、兵装製造の細かいシステムも上手く動いているように……

◎2Bの言葉の最後に何か疑問のニュアンスが含まれる。

◎その言葉にかぶるように、ポッドが報告する。

ポッド153

報告：敵性機械生命体の反応を確認。

2B

了解。破壊する。

ポッド153

反応増加中。24、26、29……

2B

……そんな数、一体いままでどこに……ッ!!

ポッド153

反応、さらに増加中。30、31、32、33、34。

2B (ナ)

これほどの大量の機械生命体が反応も無く近寄れる訳がない。

2B (ナ)

あらかじめ砂の中に隠れ、仮死状態で待ち伏せをしていたのだろう。

2B (ナ)

その事が示すのは一つの事実。



2B (ナ)

◎少し間をあけて。

……この状況が、仕組みられた罠、という事だった。



◎戦闘で最後の敵を攻撃し、荒い息になる2B。

2B

ツ!! ……ハアッハアッハアッ……

ポッド153

全ての敵機械生命体の撃破を確認。

オペレーター60(ナ)

34機の中型機械生命体と戦った2Bは、  
ふらつきながらもなんとか倒れずに立っていた。

オペレーター60(ナ)

2つの武装を喪失し、いくつかのセンサー類が停止していたものの、  
自己修復可能なレベルにとどまっている。

ポッド153

警告…ヨルハ機体2Bの戦闘によるダメージの蓄積。

ポッド153

推奨…適切な、修復 処置 と、消耗 品 コ 交……

オペレーター60(ナ)

ポッド153の音声にノイズが混じる。

オペレーター60(ナ)

空中でポッドの腕が不規則に動く。まるで痙攣しているようだ。

オペレーター60(ナ)

ランプの明滅が内部の異常な状態を示している。

2B

何……ポッド？ どうしたの？

ポッド153

適切な、修復 シュー復 処置to syomO……h1……

◎10秒程度沈黙した後、突然、ポッドが高速に話し始める。

ポッド153

遠距離武装展開。FFCS起動。

ポッド153

ヨルハ機体2Bを敵性アンドロイドと認識。

ポッド153

随行支援任務の停止を提案。承認。

ポッド153

攻撃を開始する。

2B

ポッド!!

オペレーター60(ナ)

武装展開したポッドが発射する高速エネルギー弾。

オペレーター60(ナ)

2Bは間一髪でそれを避ける。



2B

ポッド153！ 何してる!?

ポッド153

敵アンドロイドの撃破を確認出来ず。

ポッド153

射撃補正プログラムを構築開始。構築終了。

ポッド153

申請：重力制御弾使用。許可を受諾。

オペレーター60(ナ)

ポッドの兵装は  
ヨルハ機体もしくは司令部からの許可が無いと発射する事は出来ない。

オペレーター60(ナ)

しかしポッド153は承認プロセスに対して  
内部的にバイパスをかけていた。

ポッド153

重力制御弾発射。

2B

グッッ……!!!

オペレーター60(ナ)

ポッドの放った重力攻撃を回避する2B。

オペレーター60(ナ)

しかし、半球状に広がる攻撃範囲に右足が捉えられてしまう。

ポッド153

遠距離攻撃システム。大出力展開。集中レーザー攻撃準備。

オペレーター60(ナ)

ポッドの兵装がさらに展開し、  
動けなくなった2Bに向けて照準を合わせる。

2B

うっ……あああああああっ!!

オペレーター60(ナ)

2Bは自らの右足に刀を振り下ろし、足を切り落とそうとする。

◎2Bが足を切り落とすのと同時に、ポッドがレーザーを発射する。

2B

ガアああっ!!!

ポッド153

大出力レーザー発射。

◎ポッドに対して剣を投げつける2B。命中し、ダメージをうける153

2B

……ッ!!

ポッド153

ギツギツギツ!!

オペレーター60(ナ)

間一髪でポッドの攻撃を避けた2Bは、  
右足を切り落とした剣をそのまま投げつける事で  
ポッド153に反撃していた。

ポッド153

ヨルハ機体2ブ……随行……機ノ……

オペレーター60(ナ)

剣が直撃したポッドは15秒程痙攣した後、

奇妙な音を出して停止した。  
その音はまるで……甲高く嗟う、子供のような声だった……





2B (ナ)

暴走したポッドを倒した私は、その場を動けずにいた。

2B (ナ)

大破した右足は簡単には修復出来そうにない。

2B (ナ)

這いずるように落ちたポッドの残骸まで移動すると、ポッドのスピーカーがアクティブになった。

オペレーター60

オペレーター60より2Bさん！ 2Bさん！ 聞こえますか？  
大丈夫ですか!?

2B

……こちら2B、聞こえる。

オペレーター60

ああっ、2Bさん。良かった……

オペレーター60

こちらでモニターしていたんですけど、ポッド153攻撃モードが急に制御不可能になってて。

オペレーター60

でも、この制御プログラムは、本来の随行対象である9Sさんにしか書き換えられないコードで……

2B

オペレーター60。

オペレーター60

まさか、9Sさんが、2Bさんを……

でも、そんな、9Sさんに限って、  
2Bさんへの攻撃命令をポッドに埋め込むなんて

◎その言葉を遮るように2Bが叫ぶ。

2B

オペレーター60!!

オペレーター60

ッ……はい？何ですか？

2B

いつからだ……

オペレーター60

はい？

2B

いつから、お前は「そこにいる」んだ？

オペレーター60

えっと……ちょっと意味が……

2B

アクセスポイントの通信機能はまだ復活していない。

オペレーター60

……え？

2B

素体再構成ユニットの最終チェックに入った時に、  
内部に小さな機械の破片が残っていた。

2B

錆びついたそれは機械生命体の部品だとすぐに判った。

2B

不審に思った私は、アクセス端末の最終起動をしていなかった。

オペレーター60

……………

2B

そして、この砂嵐ではレーザー通信も出来ない。

2B

つまり、衛星軌道上にいるお前が、私に通信なんか出来る筈はない。

オペレーター60

……………

2B

ポッド153の中に居る、お前は……誰だ？

◎8秒沈黙。

オペレーター60

……フッフ……フッフッフ。

オペレーター60

ねえ、気づかれちゃったよ。

オペレーター60

気づかれちゃったね！

オペレーター60

あーあ。

9Sのせいにして仲間割れを誘ったら  
面白いかなーって思ったんだけどな。

オペレーター60

面白いかなーって思ったんだけどな。

オペレーター60

残念だなー

オペレーター60

残念だねえー

◎まるで二人でかけあっているかのように喋るオペレーター60。

オペレーター60

私達は統合された思念体。

オペレーター60

私達は多数であり単一。

オペレーター60

でも、2B、本当に私達のせいかな？

2B

何を言ってるんだ……

オペレーター60

この事件は9Sの仕組んだモノかもしれないね。

オペレーター60

9Sは本当に貴女を殺そうとしていたのかもしれないね。

2B

………

◎2B、怒りで震え、息が乱れる。

オペレーター60

ヨルハ機体9Sは機密情報にアクセスする可能性が高かった。



オペレーター60

だからE型モデルによる処分が決定していた。

オペレーター60

彼は気づいているかもしれないよ？

オペレーター60

彼は怒っているかもしれないね？

オペレーター60

9Sを何度も殺していた2B……二号E方の貴女に。

2B

……アアッ!!

ポッド153 (ナ)

2Bは地面に落ちていた自らの足を拾い上げ、ポッドに叩きつける。

ポッド153 (ナ)

空中でその攻撃を受けたポッドは、

クルリクルリと奇妙な回転をしながら、  
ゆっくり砂に落ち、全ての機能を停止させた。

2B

……私は……私は……ッ。

ポッド153 (ナ)

気づくと砂嵐はやんでいた。

ポッド153 (ナ)

砂漠に、再び太陽の光が差し込んでいる。

オペレーター60

……もしもし、もしもし、2Bさん聞こえますか？ 2Bさん!?

オペレーター60

大丈夫ですか!? 2Bさん！ 返事をしてください!!

2B

……こちら2B。聞こえてる。

ああっ……良かった……

急に電波通信が出来なくなって、

オペレーター60

砂嵐でレーザーも使えなくて、

もし敵の攻撃だったらどうしようかって思っ……

ようやくレーザー通信が使えるようになって……

2B

……

オペレーター60

……2Bさん？ 大丈夫ですか？

2B (ナ)

「……大丈夫だ。何でも、ない。」

2B (ナ)

私はそう答えた。

◎少し間。

2B (ナ)

オペレーター60に心配をかけたくなかったのか、それとも……

2B (ナ)

自分自身の闇を見るのが怖かったのか、

2B (ナ)

今の自分にはわからない。

2B (ナ)

見上げると、白く、明るく、眩しい空が広がっていた。

2B (ナ)

まるで、私を、見下すように。※

2B (ナ)

9Sを殺し続ける、私を、責めるように……

◎読みは「みくだす」です。

ポッド153 (ナ)

全ての存在は滅びるようにデザインされている。

ポッド153 (ナ)

生と死を繰り返す螺旋に……

ポッド153 (ナ)

『私達』は囚われ続けている。

オペレーター60 (ナ)

だけど、私達はここに産み落とされた。

オペレーター60 (ナ)

だから、私達はここに生きている。

2B (ナ)

どんなに嘘を重ねても、

2B (ナ)

どんなに罪を犯しても、

2B (ナ)

許される時が永遠に訪れないとしても……

2B (ナ)

私達は、戦い続ける。

全員 (ナ)

私達は、戦い続ける。

全員 (ナ)

私達は、戦い続ける！

全員 (ナ)

私達は、戦い続ける!!

2B (ナ)

いつか、罰が下る、その日までは……

(終)